

# チェルノブイリ原発職員死亡者リスト

チェルノブイリ原発事故で亡くなった、事故処理作業員の正確な数字は、未だにはっきりしない。事故後、ソ連政府が発表し、未だに公式の死亡者数として引用されるのは、31名に過ぎないが、実際は既に7~8,000名の事故処理作業員が、死亡していると言われる。それは事故の後、ソ連が崩壊し、作業に加わった人々がバラバラになってしまったこと、国の分裂によって全体を統一的に把握するシステムが無くなったことなどによる。

以下にあげるのは、事故処理作業員の救済のために作られた「チェルノブイリ同盟」が把握した、1986年から1989年の間に死亡した、元チェルノブイリ原発職員のごく一部のリストである。ウクライナ保健省が把握しているだけでも、これまで年間5~800名が死亡してきた。心から、ご冥福を祈りたい。

[http://www.halcyon.com/black\\_box/hw/staff.txt](http://www.halcyon.com/black_box/hw/staff.txt) から引用。(河田昌東)

ウイク・アレクサンダー	(25才)	ホノマリフ・ウラジミール	(40才)	ニコラフ・ビョートル	(56才)
ロバチク・ビクトル	(26才)	ホホフ・ワレリ	(41才)	ブリャコフ・イツ・セルゲイ	(60才)
トプツノフ・レオント	(26才)	スベカ・ビクトル	(42才)	フィラチンコ・アレクサンダー	(?)
ベルツィン・ユーリ	(27才)	ジンチンコ・パレンチ	(43才)	ブロンザ・イゴール	(?)
クルフス・アナトリー	(28才)	コノバル・ユーリ	(44才)	クツネツォーヴァ	(?)
フィルナヤ・アントニ	(28才)	アルタモノフ・ゲナジ	(44才)		
クワサ・ウラジミール	(28才)	セルゲ・ウァ・マリア	(44才)		
ブラズニコフ・ウァチスラフ	(29才)	マルチンコ・ワシリ	(45才)		
クワリャコフ・アレクサンダー	(29才)	シャホフ・アラトリー	(46才)		
クワトフ・アレクセイ	(30才)	ホニコフ・アナトリー	(46才)		
ブロクワコフ・ビクトル	(31才)	コンチャコフスキー・ビョートル	(46才)		
デチャレンコ・ビクトル	(32才)	シテルビナ・ワシリ	(46才)		
ロス・アレクセイ	(32才)	イルツョフ・ユーリ	(46才)		
ウオルコフ・イゴール	(32才)	カルガホフ・パレリ	(47才)		
バラノフ・アナトリー	(33才)	ザトリン・ミハイル	(47才)		
アキモフ・アレクサンダー	(33才)	ジゴホデル・ワシリ	(47才)		
カムツォフ・ウラジミール	(33才)	レチンコ・アレクサンダー	(48才)		
ベルチク・コンスタンチン	(34才)	フィルニイ・ウツ	(48才)		
ネホレンコ・イカテリーナ	(34才)	ラウツキン・ユーリ	(48才)		
ズモク・エフゲニ	(34才)	ミーツ	(48才)		
ホデムチク・パレリ	(35才)	コレソフ・ウラジミール	(48才)		
シヤスツエノフ・ウラジミール	(35才)	ウオルチコフ・アデライダ	(49才)		
ウァツルコフ・ウラジミール	(36才)	リハノク・スタスラフ	(49才)		
リヤザノフ・アナトリー	(36才)	ベロセルツィフ・ユーリ	(49才)		
セルブリャコフ・アレクサンダー	(37才)	シイダナ・エレナ	(50才)		
グリャノフ・ユーリ	(38才)	ジュージン・ウラジミール	(50才)		
ホズニャク・ウラジミール	(38才)	シヤラコフ・ニコライ	(51才)		
ベレホフ・チンコ・パレリ	(39才)	ソビエフ・トルド	(51才)		
フオクソフ・ワレリ	(39才)	ブトニコフ・ウツ	(52才)		
ジゲイリン・アレクサンダー	(39才)	ニコライ・ホリス	(55才)		

以上 65名。

( )内は死亡時年齢

